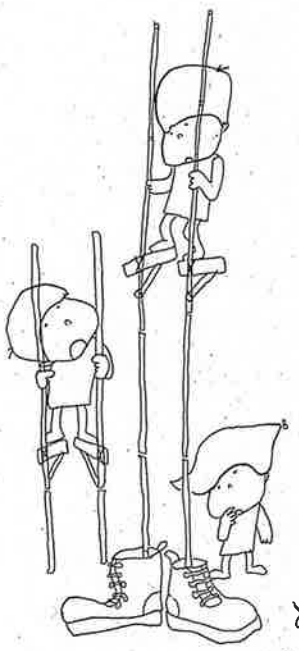
2月の園だより

令和8年2月
こぐま保育園



2月4日は立春。暦の上で冬が終わり、春が始まる日とされています。今年の冬は、雪に恵まれ、園庭や浜山で沢山の雪遊びができました。大人にとっては厄介な雪ですが、子どもたちにとっては、雪に触れたり、冬ならではの遊びが存分にできたことは、うれしいことですね。寒さがあるから、火や陽のぬくもりもあたたかく、ありがたく感じると思います。ぬくぬくとして心地良いだけでなく、寒さや冷たさ、あたたかさなど両方を体で感じて育って欲しいですね。

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3(ほし) のりまき作り	4	5 雑費集金	6	7
⑧	9	10	⑪	12	13 安全診断日	14
⑮	16 卒園写真撮影	17 役員会	18 後期健康診断	19 弁当デー (ほし)合同リズム	20 →	21 →
㉒	㉓	24 身体測定	25(ほし) 公開給食	26 (ほし)乗馬	27 (きく)懇談会	28

- 廃品回収…2/9(月)～13(金)
- 3月の予定…3/6(金) 保育公開日(全クラス)
  3/20(金) 卒園式
  3/21(土) 振替休日

――異種混淆で免疫を高める――

最近は、子どもたちを取り巻く世界がどんどん同質化しています。年齢の異なる子どもたちが入り乱れて遊ぶということが少なくなりました。もっとも少なくなっているのが、よその大人と接触する機会です。子どもたちが接する大人は、両親、祖父母、友だちのお母さん、学校や習い事の先生くらい。世間の多彩さを知る機会が減っています。狭められた環境のなかで、安心できる人とだけ接して育つことは、子どもにとっていいことでしょうか。無菌状態で純粋培養されていると、ちょっとした菌にも弱くなる。抵抗力がないので、すぐに参ってしまいます。一生無菌状態のまま生きていけるわけではありませんから、外の世界にいろいろ触れて免疫をつけ、人間関係にタフになることも成長において大切なプロセスです。意外とおもしろいのが、お父さんの友だちを家に連れてくること。大人の女性とは「○○ちゃんのお母さん」というかたちで接することがけっこうありますが、大人の男性は子どもの周りにはあまりいないので、その存在感が強烈なのです。また耳慣れない方言を使って話す親戚のおじさん、おばさんの存在も、新鮮な刺激文をもたらします。世界にはいろいろな人がいます。違う人種、違う言語、違う文化、違う考え方をする人がいるのは当たり前で、多彩な人々が混在しているのが社会というものです。異質な人との出会いが、人間としての幅を広げる。その積み重ねが、違いを認めて違いを受け止める姿勢を培います。

自分と違う価値観をもつ人を受け止められず、極端になると「許せない」という歪んだ感覚で他者を攻撃したり、排除したりしようとすることは、非常に狭量で危険です。いろいろな人を寛容に受け止められる――子どもたちにはそうあって欲しい。それが、社会への適応力であり、人間関係がタフになるということです。

「遊ぶ力は生きる力」 齋藤 孝 著より

おしらせ

年長児の活動

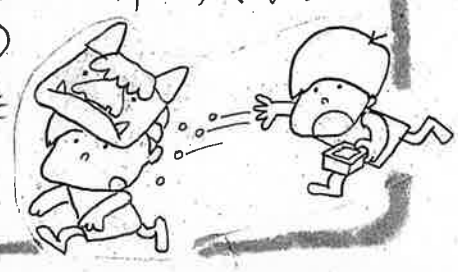
- **のりまき作り**　ほしぐみの子どもたちは、自分たちで巻いたのりまきを食べますよ！
  とき：2月3日（火）
- **合同リズム・合宿**　（合宿は20～21の一泊です）
  とき：2月19日（木）～21日（土）　ところ：カミアリーナ
  この一年間、リズムなどで交流してきた市内9園の年長児が集まり、各園で合宿をしながら、卒園期のリズムをします。
- **乗馬体験**
  とき：2月26日（木）　ところ：やまなみファーム（仁多）

卒園期に向けて様々な活動を楽しんでいる年長さん。これから凧作りをしたり、もみ和紙という紙に絵を描き、絵の具で色を塗ったり、卒園期のリズムをしたりと、充実した一日一日を送っていきますよ

役員会について

とき：2月17日（火）　18:30～
一年間の反省をします。
各クラスの役員の方、よろしくお願いします。

弁当デーは19日（木）です!!

今年も節分で災いを除き、福を招きましょう！

園では子どもたちが鬼の面を作ったり、紙の豆をまいて（事故防止のため）厄払いをします。ご家庭でも豆まきには十分気をつけてくださいね。